



# 岡村泰明県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

## 羽田の騒音問題で白熱論議!!

### 国へ地元意見の反映求め

四街道市選出で、県政と自民党内でますます存在感を高める岡村泰明(おかもら・やすあき)県議は、9月定例県議会の一般質問に登壇し、森田知事ら県執行部と1時間の持ち時間を原稿なしで白熱論議を交わしました。この中で、羽田空港の国際化に伴う四街道市上空での航空機騒音問題では、関係自治体の了解を得るには、十分な情報提供が必要だと強く指摘し、千葉県側の騒音をいかに減らしていくかが問われていると訴えました。

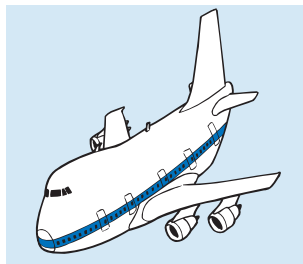
また、岡村県議が早くから提唱していた小中高生へのがん教育の実施については、県教育長から「中学生向けのリーフレットを作成、年度内に配布する」との積極的な答弁を引き出しました。その他の質疑と合わせて特集しました。



森田知事(左)を前に騒音問題で持論を語る岡村県議

四街道市選出で、県政と自民党内でますます存在感を高める岡村泰明(おかもら・やすあき)県議は、9月定例県議会の一般質問に登壇し、森田知事ら県執行部と1時間の持ち時間を原稿なしで白熱論議を交わしました。この中で、羽田空港の国際化に伴う四街道市上空での航空機騒音問題では、関係自治体の了解を得るには、十分な情報提供が必要だと強く指摘し、千葉県側の騒音をいかに減らしていくかが問われていると訴えました。

また、岡村県議が早くから提唱していた小中高生へのがん教育の実施については、県教育長から「中学生向けのリーフレットを作成、年度内に配布する」との積極的な答弁を引き出しました。その他の質疑と合わせて特集しました。



### 9月県議会一般質問に登壇

岡村議員 羽田空港の発着回数の増加に向けて、8月26日に国土交通省で第1回の協議が始まりましたが、国が示した図面を見ても私たちに、これで騒音が本当に減るのか、よく分かりません。私たちは南風好天時だけ関係があるのですが、今まで佐倉、四街道、千葉の上空を飛んでいたものが、今度は茨城、埼玉、東京という形でA滑走路に着陸するんです。

森田知事 国土交通省は、首都圏空港の機能強化の具体化に向けた関係者間の協議を行うため、8月に「首都圏空港機能強化の具体化に向けた協議会」を設置しましたが、

この第1回協議会では、国及び関係自治体それぞれの基本姿勢が示されたところですが、この協議会では、県は、本年1月に国が、県及び関係市町に対して示した「首都圏全体でどのように騒音を分担するか、環境面の視点として位置づけを検討する」との回答内容を具体的に進めるよう改めて要請するとともに、現状における本県の騒音負担の軽減を求めました。

### 正確な情報提供求め 千葉県上空の騒音軽減

岡村議員 国の都心上空の飛行案によって、南風好天時の本県における騒音負担は、具体的にどうなるのか。

総合企画部長 国土交通省からは、南風時における本県の騒音負担がどうなるかについて、現時点ではまだ具体的な数字が示されていないため、正確な情報提供を求めています。

また、今後個別に関係自治体と協議するのとこのことです。その説明の際には、丁寧な説明を求めたいと思います。県としては、首都圏における騒音分担による航空機騒音の軽減をまずは行うよう、引き続き強く国に要請するとともに、首都圏空港の機能強化によって、本県に再び騒音のしわ寄せが来ないように求めています。

### 騒音分担

岡村議員 羽田空港飛行経路の首都圏への騒音分散化についてどう思うか。

森田知事 県としては、航空機騒音の首都圏全体での分担による抜本策と、飛行高度の引き上げ、飛行経路の分散化等による騒音軽減策の実施を従前より求めてきております。

これに対し、国交省からは、真摯かつ適切に取り組んでいくとの回答を得ております。

●千葉県議会のHPから岡村県議の質疑がすべてご覧になれます。千葉県議会→インターネット中継(録画)→議員名で検索

岡村やすあき 県議事務所  
〒284-0025 四街道市さちが丘1-15-2 TEL/FAX.043(423)0103



# がん教育に着手モデル校設置へ



自席から立ち上がり再質問する岡村県議

**岡村議員** がん教育については、私は昨年9月議会でも取り上げ、今の小中高でがん教育はダメだという話をしました。今回、7月の新聞で、文科省ががん教育を始めるといふ記事が出ました。私も喜び、全国の20校で始めるということなので、ぜひ千葉県でもこのモデル校を受けてもらいたいと思います。

がんは早期に発見すれば、9割は治癒すると言われていて、子ども頃からしっかりとがん教育をすることが大切だと思います。そこで、県教育委員会では、どのように取り組んでいくのか伺います。

**教育長** 県教委では、今年度から文部科学省が始めた「がんの教育総合事業」を活用し、「がん教育検討会」を設置し、がん教育の内容や指導方法等について検討を進めています。

この検討結果に基づいて、

## 9月県議会の一般質問から

**岡村議員** 友人が外国行中に置き引きにあつてパスポートをなくし、現地の警察で証明書をもらって日本大使館へ行ったら、写真と

## 旅券紛失の対応策

**岡村議員** 友人が外国行中に置き引きにあつてパスポートをなくし、現地の警察で証明書をもらって日本大使館へ行ったら、写真と

成田市内のモデル校で検証授業を行ったうえで、中学生向けのリーフレットを作成し、年度内に県内の中学校に配布することとしています。

今後は、教員対象の研修会等でリーフレットの授業での活用を促すとともに、今年度の研究成果を生かして、小学校及び高校でもがん教育について取り組みを進めてまいりたいと考えています。

**岡村議員** 中学生にリーフレットをいつ配布し、いつから授業で活用するのか。

**教育長** 配布については、今年度計6回のがん教育の検討会を経て内容を詰める、年度内には各中学校で配布する予定です。

また、いつから授業で活用するのかは、中学校3年の保健の教科でがんを学ぶ時間がありますので、来年度の4月以降、3年生の授業の中で活用するよう周知を図ってまいります。

**要望**

がん教育のためのリーフレットは、インパクトのある資料にしてもらいたい。例えば「がんにならないためには、たばこを吸わないことが一番」というようなことを強烈に打ち出していきたいと思います。

スポーツの紛失で暗いものになってしまいます。

そこで、私は外務省の知り合いを通じて、旅券の担当者に旅券を発行する際に困った時の対応策(戸籍謄本・抄本、写真、パスポートの写しの持参の推奨などの改善策を尋ねましたが、なかなか即答はありませんでした。そこで、旅券を発行する県として、パスポートの大切さをこれまで以上に周知するとともに、外務省に困ったときの対応を働きかけていくべきと思うがどうか。

## 高速道路の落下物

**岡村議員** 高速道路の交通安全について伺います。高速道路を走っていて、私も経験がありますが、モノが落ちたり、それによってパンクしたり、あるいは小石が飛んできてフロントガラスが割れる「飛び石」という事故もあります。

飛び石による事故は、多くの場合相手分が分からないので、警察に届けることにはないと思えますが、保険会社が調べたところでは、高速道路での総事故のうち、5%が飛び石による事故だとの報告もあります。高速道路での

文書です。

このため、外務省では旅行先ではしっかりと身につける工夫をするなど、旅券の管理に細心の注意を払うよう周知しており、県でも旅券を発行する窓口で、交付する際に注意喚起を行なってまいります。議員ご指摘のとおり、旅券を紛失したり、盗難にあった場合は、煩雑な手続きが必要になるだけでなく、犯罪に悪用される危険性もあることから、まずは自らの責任で、しっかりと旅券を管理するよう、これまで以上に呼びかけてまいります。

**要望** なかなか難しいかも知れませんが、外務省にぜひこういう要望が強いことを伝えていただきたい。



文教常任委員会で発言する岡村県議

**警察本部長** 高速道路上での落下物は、重大事故に直結するものであることから、県警では積載物の転落、または飛散防止措置の講じられていない車両の運転者に対する交通指導取締りを強力に推進するとともに、関係団体の会議等、あらゆる機会を捉えて正しい積載方法についての指導を行っているところです。

## 災害時の踏切遮断

**岡村議員** 大規模災害時には、踏切の遮断機が下りて通れなくなります。東日本大震災の時も、やはり遮断機が下りて通れなくなり、その結果、街中が車で混雑することになりました。避難者や救急車など緊急車両の通行の障害にもなることから、JRに働きかけて、早急に改善を図ってもらいたいと考えますが、どうか。

**防災危機管理部長** 県では、JR東日本では、踏切による長時間の交通遮断は、住民の避難等の障害になることから、対策を検討中とのことでした。県としては、引き続き対策の検討促進を働きかけてまいります。

**要望** 災害時、電車が遮断機の近くに停車している場合、遮断機が下りてしまうため、運転手や車掌が遮断機を開けに行ったり、またそれが無理な場合は、JRから連絡を受けた市町村の担当者が開けに行くなど、いろいろな方法があると思えます。県からもJRに強く要望してもらいたい。